御挨拶

2018埼玉大会 会長
大野 好司
埼玉県立坂戸高等学校長

「第55回全国高等学校美術、工芸教育研究大会＜2018埼玉大会＞」におきましては、「GO！GO！アート　未来を彩る美術、工芸教育」をテーマに掲げ、記念講演、4つの分科会、ポスターセッション等を実施いたします。分科会では、「未来を彩る」4つの「もの・こと・ひと・みち」という切り口から『学びの改革』について、協議を深めて参ります。

さて、平成29年度末に次期学習指導要領が告示されました。改訂のポイント「どのように学ぶか」の方向性が「主体的、対話的で深い学び」です。埼玉県教育委員会では平成22年度から、東京大学CoREF（大学発教育支援コンソーシアム推進機構）と連携し、「協調学習」というアクティブラーニングの手法を取り入れた授業改善に取り組んでいます。本大会を通じ、様々な実践をぜひ御覧になってください。

今次の改訂で、大切なことは、美術科における表現や鑑賞の活動等、これまで充実が図られてきた学習を、さらに改善・充実させていく視点です。それは、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業の在り方、カリキュラム・デザインです。「何を知っているか」を「知っていることをどう使うか」につなげさせ、「どのように社会と関わり、よりよい人生をおくるか」へと発展させていく指導が求められています。

ここ埼玉県の愛称「彩の国」とは、四季折々の色彩豊かな自然に恵まれ、産業、文化、学術など様々な分野で発展する多彩さを表現しています。この「彩の国」において、子供たちの未来を彩る美術、工芸教育について、全国の皆様と、充実したよい学び合いの機会となりますことを期待いたしております。

記念講演　「自立のためのデザイン教育」

講師　多摩美術大学　**和田 達也 教授**

日本の若者たちの自立心の希薄が見られる現代社会において、私たちは「モノづくり」優先の時代から「人づくり」の時代へ移行すべきだと考えます。私が世界中のクリエイターに向けて行なっている講義、ワークショップの中から、マインドセット、アクティブラーニング等の事例を紹介し、皆様と問題解決を共有し、高大連携の効果的な糸口を探る講演になることを祈っています。

多摩美術大学プロダクトデザイン専修卒業、89年株式会社日立製作所デザイン研究所入社、92年株式会社ジープラス設立、01～13年日本産業デザイン振興会グッドデザイン賞審査委員を務める。
日本文具大賞、アイウェア・オブ・ザ・イヤー審査員。02年に多摩美術大学の教授、現在、学科長を務める。
国内外の大学・企業等との共同研究による積極的な国際交流活動。
様々な変革と進歩が著しい現代で、プロダクトデザインの役割は非常に重要なものとなっている。
時代に適合し、新しい時代の牽引者となるべきプロフェッショナルデザイナー育成のために、産学共同研究や地域産業の活発化支援活動を主にハードウエアからソフトウエアプロダクトまでを包括した講義、実技を行う。
海外の大学との積極的な交流を計り、共同研究を推進、研究室、講師と一体となって大胆な研究、提案を実行している。

スケジュール

8/8(水)

14:30	15:00	17:00	18:00
受付	大会役員連絡協議会 都道府県代表者会議		
生徒選抜作品展示、教材・画材・学校紹介ブース、ポスターセッション（展示）			

※受付は4F市民ホール

8/9(木)

9:30	10:00	10:30	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	16:30	18:00	18:30
受付	開会式	記念講演	昼食	分科会1 発表者2名 ×4分科会	グループ クロス トーク	ポスター セッション （プレゼン）	次期開催県引継会 伝統工芸体験		情報交換会 ※会場はパレスホテル大宮	
生徒選抜作品展示、教材・画材・学校紹介ブース、ポスターセッション（展示）										
生徒ワークショップ										

※受付は 地下１F展示場ロビー

8/10(金)

8:30	9:00	10:00	11:00	11:30	12:30	17:00
受付	分科会2 発表者2名 ×4分科会	グループ クロス トーク	分科会報告会・ポスターセッション講評	総会 閉会行事	バス見学研修（昼食バス内）	
生徒選抜作品展示、教材・画材・学校紹介ブース、ポスターセッション（展示）						

※受付は地下１F展示場ロビー

分科会

第1分科会　未来を彩る**もの**づくり
～表現・鑑賞教育の題材開発と工夫～

これからの美術、工芸教育を意識した表現及び鑑賞授業の題材や教材など「ものづくり」の工夫等を取り上げ、共有します。
助言者：内田 裕子 先生（埼玉大学 教育学部 准教授）

第2分科会　未来を彩る**こと**づくり
～授業形態・体験活動の可能性～

主に学校内で実践している授業形態の工夫や様々な美的体験活動の取組など「ことづくり」を取り上げ、その可能性について考えます。
助言者：三澤 一実 先生（武蔵野美術大学 教育課程研究室 教授）

第3分科会　未来を彩る**ひと**づくり
～社会と関わる教育の実践～

主に学校外で実践している部活動・ボランティア団体・有志団体・学校及び生徒会行事など、社会や人との関わりによって生まれる「ひとづくり」の実践例を取り上げ、その関わりを考えます。
助言者：守山 菜穂子 先生
（株式会社ミシト・ブランディング 代表取締役／ブランドコンサルタント）

第4分科会　未来を彩る**みち**づくり
～美術、工芸教育の存在価値の再発見～

美術、工芸教育において科学的・芸術的な考え方、存在論、試行的な試みや斬新な考え方など「みちづくり」を取り上げ、今後の美術、工芸教育の在り方を探ります。
助言者：有賀 三夏 先生
（東北芸術工科大学 基盤教育センター 講師）

第4分科会におきましては、助言者のミニ講演会「人生に芸術をどう使おうか?～多重知能理論と芸術思考～」を実施予定です。

ポスターセッション

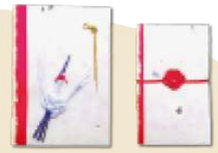
ポスターセッションとは、研究成果を発表する方法の一つで、発表者が研究内容を1枚のポスターにまとめて掲示し、参加者と直接的に対話しながらプレゼンテーションするものです。本県でも、県内発表者を中心に、他県の先生も交え4分科会に色分けされた約40枚のポスターを掲示し、大会2日目にポスターセッションを実施いたします。多くの参加者の皆様と語り合える場となれば幸いです。
ポスターセッション助言者：
梅津 元 先生　（埼玉県立近代美術館 教育・広報担当主任学芸員）
笠原 たまき 先生　（埼玉県立近代美術館 教育・広報課長）

伝統工芸体験

※大会HPの大会参加登録予約からお申込みください。

強制紙
マチ付手提げ袋制作
講師：小畑 玲子 さん

色とりどりの染め紙で可愛い手提げ袋を作ります。
和紙を折る・切る・貼る、また和紙に描くなどし、デザインを模索します。



水引をつけたポチ袋制作
講師：濱田 美代子 さん

小川和紙に水引を付けたポチ袋を2種類作ります。
一枚の紙を折り、水引の伝統的な鮑（あわび）結びを使い、飾りを付けます。

参加費　2講座で2,000円（材料費含む）

バス見学研修

大宮盆栽美術館とクサカベ絵具工場に御案内いたします。

※大会HPの大会参加登録予約からお申込みください。
※研修日程は参考です。研修後の交通機関の予約は時間のゆとりをもってお願いします。

日　程　8月10日（3日目）
12:45 ソニックシティ発
↓
大宮盆栽美術館
↓
クサカベ絵具工場
↓
17:00 JR大宮駅　解散

参加費　2,900円
（昼食、旅行傷害保険代含む）

さいたま市 大宮盆栽美術館

2010年に開館した世界で初めての公立盆栽美術館です。日本を代表する名品盆栽約120点をはじめ、盆器、水石、絵画、歴史・民俗資料などを収集し、公開しています。人と自然が共同で作り上げた生きた芸術・盆栽。その美しさを、じっくり御堪能ください。

五葉松「千代の松」

写真提供：大宮盆栽美術館

盆栽庭園

クサカベ絵具工場（朝霞市）

「クサカベ」は1928年から油絵具の製造を開始し、現在では多種多様の絵具や関連材料を製造・販売しています。朝霞工場では、クサカベ絵具が出来上がっていく工程を実際に見ることができる見学コースがあります。長い歴史に裏付けされた技術と、真心こめた絵具作りをぜひ御覧ください。